

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2005-253820(P2005-253820A)

【公開日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2004-72037(P2004-72037)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/421 (2006.01)

G 0 1 R 33/385 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 6 2

A 6 1 B 5/05 3 4 0

G 0 1 N 24/02 5 4 0 Y

G 0 1 N 24/06 5 1 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月14日(2007.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影空間を間に挟んで対向して配置され、対向面側に凹状配置スペースがそれぞれ設けられた一対の静磁場発生源を有し、前記対向方向に静磁場を発生する静磁場発生手段と、前記凹状配置スペース内に配置されて磁場を発生させる主コイルと、前記主コイルと前記静磁場発生源の間に配置されて該主コイルが前記撮影空間と反対側に発生する磁場をキャンセルする磁場を発生させるシールドコイルとを有した磁場発生コイルを備えた磁気共鳴イメージング装置において、前記磁場発生コイルは、前記主コイルと前記シールドコイルが前記凹状配置スペースの前記静磁場方向と平行な側面に発生する磁場を抑制する磁場を発生させる第1のコイルを備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項2】

前記磁場発生コイルに、前記第1のコイルによって前記撮影空間に生じる磁場の変化を補正する磁場を発生させる第2のコイルをさらに備えたことを特徴とする請求項1記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項3】

前記第1と第2のコイルを配置する静磁場方向の位置は、前記主コイルを配置する平面の位置と同一であることを特徴とする請求項2に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項4】

前記第1と第2のコイルを配置する静磁場方向の位置は、前記主コイルを配置する平面の位置と、前記シールドコイルを配置する平面の位置の間であることを特徴とする請求項2に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0011】**

本発明の第1の特徴によれば、撮影空間を間に挟んで対向して配置され、対向面側に凹状配置スペースがそれぞれ設けられた一対の静磁場発生源を有し、前記対向方向に静磁場を発生する静磁場発生手段と、前記凹状配置スペース内に配置されて磁場を発生させる主コイルと、前記主コイルと前記静磁場発生源の間に配置されて該主コイルが前記撮影空間と反対側に発生する磁場をキャンセルする磁場を発生させるシールドコイルとを有した磁場発生コイルを備えた磁気共鳴イメージング装置において、前記磁場発生コイルは、前記主コイルと前記シールドコイルが前記凹状配置スペースの前記静磁場方向と平行な側面に発生する磁場を抑制する磁場を発生させる第1のコイルを備えたことを特徴とする磁気共鳴イメージング装置が提供される。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0012****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0012】**

また本発明の第2の特徴によれば、前記磁場発生コイルに、前記第1のコイルによって前記撮影空間に生じる磁場の変化を補正する磁場を発生させる第2のコイルをさらに備えたことを特徴とする本発明の第1の特徴を併せ持つ磁気共鳴イメージング装置が提供される。
。